

令和5年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
秋田県	大館市	山瀬地区山村活性化協議会	●	●	■	A	商品化やPR活動により、目標とする販売実績を達成している。また、組織間の連携も取れており今後の更なる発展が期待される。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である下記の者から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

今西 弘幸 (秋田県立大学アグリノベーション教育研究センター 准教授)

【意見聴取の概要】

現地を訪問しての評価委員会は開催できなかったが、事業計画、事業実績等の書類を第三者に送付して、協議会会長と電話による意見聴取を行った。今西氏からは「首都圏でのPRなど積極的な活動が見られた。今後は商品の品質(パッケージデザイン、味、価格など)の向上を期待する」と意見をいただいた。